

From Kobe 2009

【11】

【 From Kobe 12月の便り 】

「和鉄の道・Iron Road」一年を振り返って 2009.12.3.

By Mutsu Nakanishi

本年一年間 「和鉄の道・Iron Road」にお付き合いいただきまして ありがとうございます。

本年 1月 淡路島で「弥生時代後半 卑弥呼の時代の国内最大級の鍛冶工房村」が出土したとのビッグニュースが報じられ、邪馬台国・大和とどようにながるのか が大きな話題となりました。

播磨灘を見下ろす小高い尾根筋に幾つもの鍛冶工房が出土したのはビックリで、胸わくわくで見に行きました。

また、本年11月 大和纏向遺跡からは卑弥呼の時代の宮殿跡と話題となった整然と立ち並ぶ建物群や水路跡が出土し、この卑弥呼・邪馬台国とこの鍛冶工房村がどんな風にかかわりあっていったのか 興味深深く 今後の展開が楽しみ。

昨年末から本年はじめ、紀元前19世紀まで遡ることができるヒッタイトの人口鉄が ヒッタイトの故地 トルコ アナトリア高原で大村幸弘氏の手で発掘されたこともビッグニュースでした。

しかも この「鉄」が強靱性を有する「鋼」でヒッタイトの強力な力はこの「鋼」を持ったことによるのではないかと大村氏は分析する。このヒッタイトが育んだ「鉄」がどんな経路でどのように東アジアの中国・朝鮮・そして日本へ伝わってきたのか・・・

そして 他に類例のない砂鉄原料によるたたら製鉄が6世紀日本で始まるのですが、上記した古代東アジアでの鉄の伝播とどんな関係を持っているのかも興味深い。

中国を中心に東アジアの古代製鉄遺跡の発掘調査など古代東アジアから日本への製鉄技術の伝播についての新しい業績を挙げつつある愛媛大学教授村上恭通さんが「浜田青陵賞」を受賞されたのもうれしいトピックス。

村上恭通さんからは「東アジア 現在発掘調査を続けている中国四川をはじめ、北朝鮮や旧ソ連の内陸部など 製鉄遺跡が眠ったままの地域が多い。これらの地域の調査を通じて 日本のたたら製鉄の起源がもっと明らかになってくるだろう」と聞きました。

また Country walk で訪れた各地には 製鉄遺跡とは別にその時代 時代 を支えた「鉄のモニュメント」が数多く残っている。それらに寄せる思いは人それぞれ。

私にとっては 本年 琵琶湖から流れ出た瀬田川が宇治川となって京都・滋賀県境の喜撰山に作られた発電所の地下に埋設されている水圧鉄管「喜撰山ダム」周辺を歩けたのが一番心に残っている。

弥生時代後半 国内最大級の鍛冶の村「垣内遺跡（鍛冶工房跡）」

国生み神話の淡路島で、弥生時代後半 卑弥呼の時代の最大級鍛冶工房村が出土した倭国から初期大和王権誕生へ 日本誕生の謎を解き明かすかも・・・



尾根筋の最下部より 尾根筋に広がる遺跡全体 2008.1.25 2007年調査前は既に埋め戻されている



弥生時代後期(1世紀～3世紀前半)の大級鍛冶工房跡「垣内遺跡」主要部 淡路市黒谷 2009.1.25 雪の朝

- SH-302 鍛冶工房跡(大型円形鑿穴建物 少なくとも1回建替) 鍛冶炉跡10 石礎 金床石 鉄製品12
- SH-303 大型鉄条村が出土した鍛冶工房跡(大型円形鑿穴建物) 鍛冶炉跡3 石礎 鉄製品5(内1は大型鉄製品)
- SH-304 鍛冶工房跡(方形の鑿穴建物) 鍛冶炉跡1 鑿槽で石礎・基石・鉄製品1
- SH-305 円形鑿穴建物 炉跡発見されず
- SH-306 鍛冶工房跡(鑿穴建物 南半分が崩れ半円状で出土) 鍛冶炉1 鉄片1

トルコ アナトリアで大村幸弘さんたちによって発掘された最古の人工鉄「鋼」

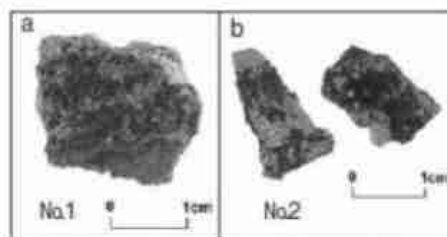


写真2 カマン・カレホック第Ⅲc層 建築遺構出土鉄片の外観。

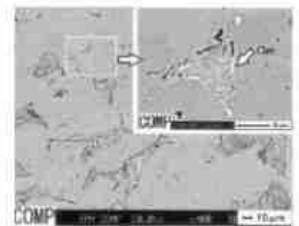


写真3 カマン・カレホック遺構第Ⅲc層出土No.1鉄片のEPMAによる組成像(COMP)。Cmはセメンタイト(Fe<sub>3</sub>C)。写真右上は約内部を拡大。

BC19世紀の層から出土したヒッタイトの「鋼」

戦後を脱し 高度成長期 日本の重厚長大を支えた鋼構造物（発電所水圧鉄管・長大橋・超高層ビル・陸機・海上構造物等々）の素材となった溶接が容易に出来て強靱な強さを持つ鋼 「溶接用高張力厚鋼板」。その先駆けが喜撰山の水圧鉄管。いつも頭の隅にあった名前です。

また 阪神淡路大震災の復興を願って神戸長田に建設されたアニメ原寸鋼鉄製の「鉄人28号」も震災とは別に高度成長期と重なる「鉄の Monument」として 興味深い。

好きな縄文 「縄文の心を映すストーンサークル」 「鉄が弥生の戦を持ち込んだのか??? 否 鉄が各地を開拓し、豊かな国づくりをなしとげたのでは??」 そんな時代へも Country Walk 今年9年ぶりに 「青森三内丸山縄文遺跡でのお月見」に出かけ、秋田鷹巣の伊勢堂岱の環状列石群の中に立つことができました。

おもしろかった一年 引き続き 「鉄・たたら」をキーワードにCountry Walk を続けたいと思っています。

1970年完成 関西で最初に建設された揚水発電所 宇治川喜撰山発電所  
 「高溶接性・強度・靱性を兼ね備えた高級高強度厚鋼板の実用化の先駆け」



形式	ロックフィルダム			
用途	発電			
所在地名	京都府宇治市池尾南組			
位置	北緯34度53分40秒 東経135度51分10秒			
河川名	淀川水系茶臼川			
ダム名称				
着手/竣工	1966/1970			
管理	関西電力(株)			
堤高	堤頂長	堤幅	堤体積	堤前標高
91m	255m	m	2,338,000m <sup>3</sup>	m
流域面積	湛水面積	総貯水容量	有効貯水容量	
0.9km <sup>2</sup>	31ha	7,227,000m <sup>3</sup>	5,226,000m <sup>3</sup>	
喜撰山発電所	(純揚水式発電)			
総出力	使用水量	落差	形式	
466,000kw	2.48m <sup>3</sup> /s	219.05m	ダム水路式	




2009. 12. 3. 「和鉄の道・Iron Road」 一年を振り返って

Mutsu Nakanishi